

【生産部門 CO₂削減】

みりん製造での、蒸気使用量の削減に取り組んでいます。以前は、窒素成分を高めるため、熟成室の暖房を土・日も実施していましたが、酒税法改正に伴い、仕込み配合の見直しを実施し、濃厚な仕込みをすることによって、窒素成分が安定しましたので、土・日の暖房を中止するとともに、平日も季節により暖房時間の短縮を実施しました。その結果、蒸気使用量が削減でき、2006年度は2005年度対比で、11.5%のCO₂削減を実現することができました。

坪内 享
伏見工場 製造課
みりん係 主任



丸山 利明

タカラ物流システム株式会社
安全環境推進室



【物流部門 CO₂削減】

タカラ物流システムでは、2006年10月に新たに取付けたデジタルタコグラフのデータから、ドライバー個人の安全運転成績表を活用して、省エネと安全の両面で日々の管理を行うようにしました。また成績表を掲示することで、Aランク～Eランクまでばらつきのあった成績が、2007年4月現在では、ほとんどのドライバーはAランクとなっています。2007年度の燃費削減に期待できるとしています。

【コピー用紙削減】

宝ネットワークシステムでは、プリンタ、コピー、FAX、スキャナー機能が一体化した複合機を活用しています。書類の控えをPDFファイル化して電子保存、FAX受信文書はパソコンの画面で確認するなど、用紙削減に効果をもたらしました。電子化により検索がしやすくなり、書類の紛失も防ぐことができます。手書きのメモをスキャナー機能で電子化し、パソコンで整理したり電子メールに添付できとても便利です。当社では宝グループの各社への複合機導入も積極的に推進しています。

安恵 由美子

宝ネットワークシステム株式会社
業務管理部



前田 幸久
SCM部 新製品課



【環境配慮型商品の開発】

清酒1.8ℓびんの替栓はプラスチックと金属の複合素材であるにも関わらず、重量比によりリサイクル法上は「その他プラスチック」に分類されていました。今回、オールプラスチック製に変更することにより、リサイクル法に合致した仕様に改善し、松竹梅豪快1.8ℓびんに採用いたしました。今後も他の製品への積極的な展開を行いたいと考えています。

【生産部門 用水の削減】

松戸工場では、クーティリティの削減に取り組んでいます。用水の削減については、CIPの見直し、みりん仕込み方法の変更、コンプレッサー冷却水の削減など10件の改善を通じて、約28,000kℓ/年の用水削減を達成しました。私たち生産支援係は、生産支援のほかに、クーティリティ削減のための設備改造にも、取り組んでいます。

西澤 誠
松戸工場 生産支援係 主任



地球の「いきいき」のために

一人ひとりが活動を推進します

宝酒造ではISO14001の統合認証を取得し、グループ会社と協力して環境活動を実践しています。



小林 義浩

東海支社 販売第二課



【環境配慮型商品の販売促進】

「はかり売り」は、皆様のご協力のもとで成り立っています。お客様がペットボトルを持参され、店員の皆様とお話をしながら、必要な分だけ購入できる「はかり売り」のシステム。こんな小さな取り組みでも、立派に「廃棄物の削減」と「資源・エネルギーの削減」に貢献できることを誇りに思います。新しくお取り扱いいただくお店が増えるたび、商品説明以上に熱を含め、環境配慮について説明しています。そんな帰り道はちょっとご機嫌です。

【工場廃棄物の削減】

黒壁蔵では、環境に配慮し2005年9月に焼酎粕リサイクル設備を導入しました。リサイクル率向上をめざし、芋や麦の焼酎粕に含まれる有効成分を分離・濃縮・乾燥して配合飼料原料として再生しています。当工場ではこれらを家畜飼料の原料に再生することで、焼酎粕リサイクル100%をめざし「ゼロエミッション化」を推進します。

笠松 徹也
黒壁蔵 環境保全係 主任



白水 孝明

首都圏支社
管理部管理課 課長



【オフィス部門 電力使用量削減】

「地球温暖化問題」の対策として「電力使用量の削減」に取り組んでいます。より大きな効果を期待すべく日本橋ビル六階から八階の事務室内、約200個の照明器具にヒモを取り付けました。これにより1カ所ごとの操作が可能となり、結果、電気使用量は前年比で1万5,000キロワットも削減することができました。

【環境コミュニケーションの推進】

環境問題を解決するためには、市民の皆様をはじめとして、産、官、学などが連携することが重要です。宝酒造では、緑字企業報告書や展示会、インターネットなどを通じて、また業界および他業界との交流や大学等での講演、学生さんからのインタビュー対応などさまざまな方法を通じて、双方向コミュニケーションを図っています。

中尾 雅幸

環境広報部 環境課長



大江 照彦

京滋北陸支社 業務市場課長



【営業部門 低公害車導入率の向上】

環境・地球にやさしい自動車「ハイブリッドカー」。京滋北陸支社では、2004年より、セールスカーとして使用しています。燃費がよく(35.5 km/kℓ)、しかもエンジン音は小さく、運転もしやすいので、環境面だけではなく、給油の手間や周囲への影響、運転の疲労などを考えても、営業活動のメリットも大きいと思います。お得意先からも「宝さん、いいセールスカーだね」と褒めていただいたりします。現在、ハイブリッドカーは、セールスカー17台中でたった1台だけの導入ですので、今後は台数を増やしていくようにしていきたいです。